

【平成 27 年度災害時外国人サポーター養成講座】



防災 × IT 体験 & 共有シンポジウム 災害時、外国人を守る 3つのアイデア

滋賀県には約 24,000 人の外国人が住み、また年間約 280,000 人もの外国人観光客が滋賀県を訪れています（いずれも平成 26 年、滋賀県観光交流局調べ）。滋賀県内で多文化共生、そしておもてなしの取り組みが進むなか、もし彼らが被災したとき、私たちにどんなことができるでしょうか。

このイベントは外国人を守るひとつの手段として「IT」に注目し、災害前・災害時・災害後と3つの時期において IT が外国人にできることを、アイデアとして共有します。そのうえで災害時外国人サポートにおける情報伝達の在り方を、産官学民一体となって考え、外国人も守れる防災計画づくりの足掛かりにしていきます。

開催日時
2016.3.5 (sat)
13:00-17:00 12:30 開場

滋賀県危機管理センター

(大津市京町 4-1-1、JR 大津駅から徒歩 5 分、滋賀県庁内)

参加無料 / 要事前申込

電話 / FAX / メール / Facebook で受付

【同時開催 / エンジニア向けイベント】

災害時外国人支援ハッカソン

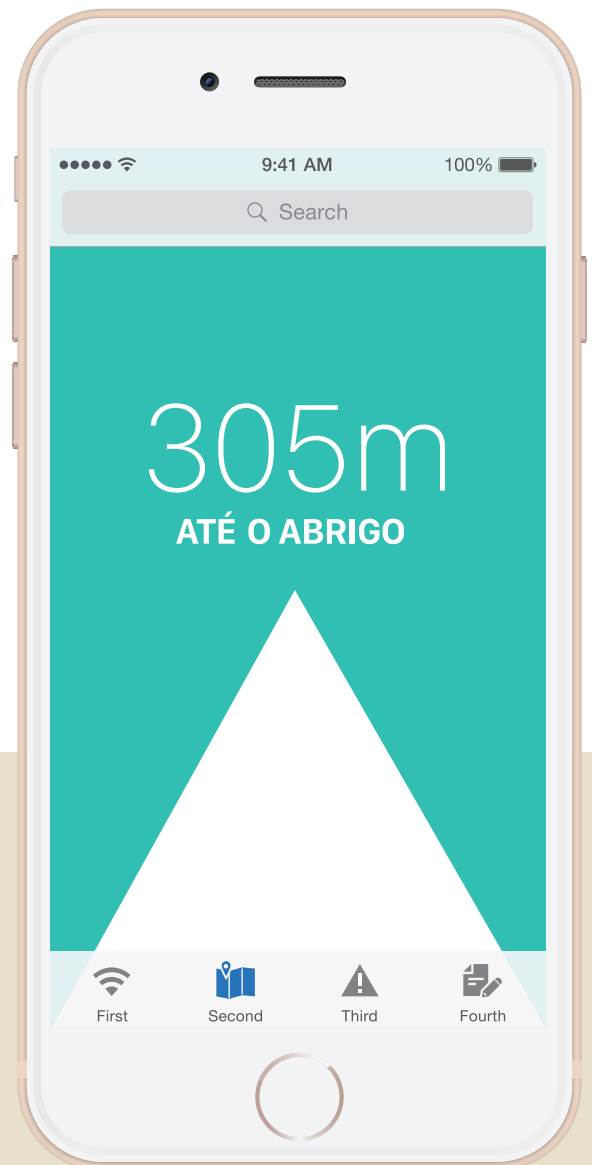
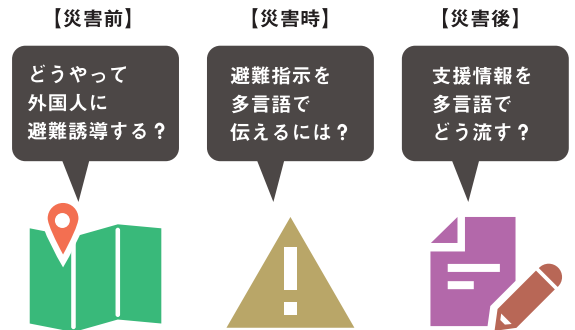
「現地のボランティア活動を IT でサポートしよう」

10:00-20:00

9:30 開場

参加無料 / 要事前申込

ハッカソンの詳細は
Facebook イベントページを
ご覧ください



Find us on

災害時外国人を守る で検索

Pictogram "Edit": created by Björn Andersson from the Noun Project

■主催：滋賀県、(公財)滋賀県国際協会、大津市

■共催：Coworking Shiga、Code for Shiga / Biwako